

大和都市計画道路の変更(生駒市決定)

都市計画道路中3・3・201号高山東西線を3・4・210号高山東西線に名称を改め、次のように変更する。

種別	名 称		位 置			区 域	構 造				備考
	番 号	路 線 名	起 点	終 点	主な経過地	延 長	構 造 形 式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・4・210	たかやまとうざいせん 高山東西線	いこまし 生駒市 たかやまちよう 高山町	いこまし 生駒市 たかやまちよう 高山町		約 2,450m	地表式	2車線	18m	幹線街路と平面交差1ヶ所	終点変更 一部路線変更

「区域及び構造は計画図表示のとおり」

理由

別添理由書のとおり

都市計画道路 高山東西線の変更理由書

1. 関西文化学術研究都市「学研高山地区」の概要

関西文化学術研究都市は、京都府・大阪府・奈良県にまたがる京阪奈丘陵において、創造的な学術・研究を行い、新しい産業や文化などの発信拠点となるため、国家プロジェクトとして建設・整備が進められている広域都市である。

学研高山地区第1工区においては、奈良先端科学技術大学院大学が平成3年に開学し、周辺には研究施設や研究開発型産業施設が立地している。

学研高山地区第2工区(288ha)は、人口計画2万3千人の住宅開発を行うものとして、平成12年に土地区画整理事業の都市計画決定、平成14年に都市計画道路の都市計画決定を行ったが、社会経済情勢等により長らく事業化には至っていない。

その後、令和3年6月に策定した生駒市都市計画マスタープランにおいて、学研高山地区を産業・学術研究拠点として位置付け、従来の住機能中心の土地利用から、基礎研究から研究開発、生産に至る各産業施設の立地など、イノベーション創出の基盤となる都市の多様性と機能連携を高める「多機能複合市街地」としての土地利用へ転換する方針とし、以降、工区を分割した段階的な土地区画整理事業によるまちづくりに向け、事業推進しているところである。

2. 路線の概要

(都)高山東西線((都)都市計画道路の略)は、京都府との府県界を起点とし、学研高山地区の東西を横断し、(都)高山南北線を終点とする地区内幹線道路として、平成14年8月に都市計画決定されたものである。

3. 都市計画変更の内容

(1) 変更の理由

本都市計画道路の一部交通量を主要地方道枚方大和郡山線まで延伸し、交通量の分散を図ることで、(都)高山南北線の起点変更に伴う「奈良先端大学前交差点」への交通量を軽減させるため。

(2) 変更の内容

- ・ 起点は変更せず、学研高山地区の幹線道路として区間延長、幅員等を変更
- ・ 終点を(都)高山南北線から主要地方道枚方大和郡山線に変更
- ・ 幅員変更に伴い路線の名称を「3・3・201号高山東西線」から「3・4・210号高山東西線」に変更